

# 東京病院ニュース

## 第103号



発行元 独立行政法人 国立病院機構 東京病院  
〒204-8585 東京都清瀬市竹丘3-1-1  
TEL 042 (491) 2111 FAX 042 (494) 2168  
ホームページ <http://www.hosp.go.jp/~tokyo/>

### 巻頭言

国立病院機構東京病院院長 松井 弘稔

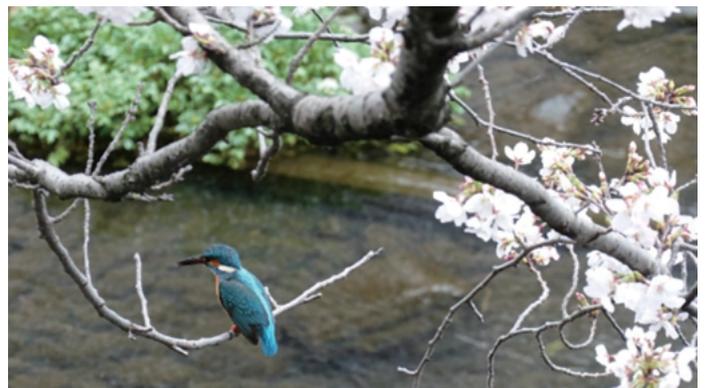


4月(卯月)は始まりの月です。医師、看護師、コメディカル、事務、それぞれの部署で多くの新人を迎え入れます。院長室の窓からは、木々の芽吹きが目立つようになり、これから新しいことが始まる気分を高めてくれます。病院内でも、冬の寒い間は風邪などをきっかけに体調を崩して緊急受診になる患者さんが多かったのが、暖かい季節とともに外来も入院も少し落ち着きを取り戻します。外来をやっていると、今日はすいていますね、と声をかけられるのもこのころです。呼吸器外来がこの時期すいている理由は2つあって、臨時受診の患者さんの実数が少ないことと、再診患者さんの容態に変化がないので診療時間が長くなることが関係します。

その一方で、この時期に悪化しやすい病気もあります。木々や花々の活動が活発になるこの時期は、花粉の飛ぶ時期でもあります。昼夜の寒暖差も大きくなり、気管支喘息を中心として、アレルギー疾患が悪化しやすい時期に当たります。新しい場所になじめず、ストレスを抱えて病気を悪化させる方も増えてくる気がします。寒暖差やストレスは自律神経を介して、体全体の不調にもつながります。気象病という言葉があって、気圧、温度、湿度などの変動によって起こる不調のことですが、梅雨時や台風の時期にめまいや頭痛が起きる、などが有名です。春先は、温度や湿度の変化による気象病の出やすい時期で、温度や湿度の変化を最も感じやすい皮膚と粘膜の病気になりやすく、皮膚科やアレルギー科が混むともいわれています。

四季のある日本で、寒い時期、花粉の時期、暑い時期、台風の時期のすべてにおいて、心も体も安定させるのは難しいこともあります。自分の体質を知り、自然との付き合い方に注意して、自己管理をすることで、乗り切ってください。最近の天気予報は適切な服装や紫外線の量、うらおいから感染症注意報までいろいろ教えてくれます。敵を知り己を知れば百戦危うからず、という孫子の有名な言葉がありますが、病気や自然界のことと自分のことの両方を正しく知ることで、体調の変化を見逃さずに過ごしてください。

私は年中、カメラを携えているいろいろなところを散歩しています。散歩していると時々カワセミを見かけることがあって、そのうちの何回かは近寄って写真が撮れるのですが、この写真のように桜の花を背景にカワセミの写真が撮れたのはこのとき1回きりです。



## 連携医の方を紹介します

### 医療法人誠徹会 清瀬博済堂クリニック

院長 柏木 睦美 先生



#### 標榜科

内科 循環器内科 糖尿病内科 神経内科 腎臓内科  
人工透析 血液透析 腹膜透析 在宅血液透析

#### ○院長からの一言：

平成21年4月に開院以来、清瀬ならびに近隣地域の医療にかかわり今年（令和7年）で17年目を迎えます。

一般内科を始め生活習慣病・循環器内科・腎臓内科の診療を行ってまいりました。近隣の専門病院との連携により、精査・加療を行い質の高い医療の御提供を心がけております。さらに腎臓内科では腹膜透析や血液透析／在宅血液透析など専門治療を行えるようになりました。

また神経内科／血液内科の専門医を迎えこれまでの医療に加え診療の巾を拡げていき地域の皆様の健康のためさらなる尽力を致したいと思います。

どうぞよろしく願いいたします。

診療時間 <午前> 9:30～13:30 ※初診受付は12:30まで、再診受付は13:00まで  
<午後> 14:00～17:30 ※初診受付は16:30まで、再診受付は17:00まで

《休診日》 外来：土曜日午後、日曜祝日、お盆、年末年始  
透析：日曜日

ホームページ：<https://www.hakusaido.jp/>

所在地：〒204-0023 東京都清瀬市竹丘2-15-15 中原ビル

連絡先：TEL 042-410-0001（透析室直通：042-497-1188）

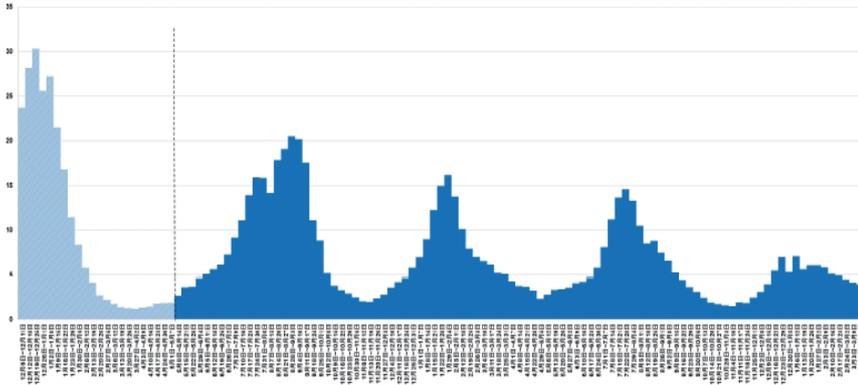


## 忘れてはいけない新型コロナウイルス感染症対策と高齢者へのコロナワクチン接種

国立病院機構東京病院 感染症センター長 永井 英明

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）は2023年5月8日に5類感染症となってからも、第9波、10波、11波と流行の波を繰り返しています。波の高さは低くなっていますが、定点医療機関当たり患者数が1を切ることは一度もなく、患者数の増減を繰り返しています。理由の一つとしては、ウイルスが変異を繰り返しており、前のウイルスに対する免疫を回避する能力を持つようになったからと言われています。また、人々がCOVID-19の疾病負担を大きく感じなくなってきたり、感染対策がおろそかになり、ワクチンの接種率の低下が著しいことも一因です。COVID-19に対する

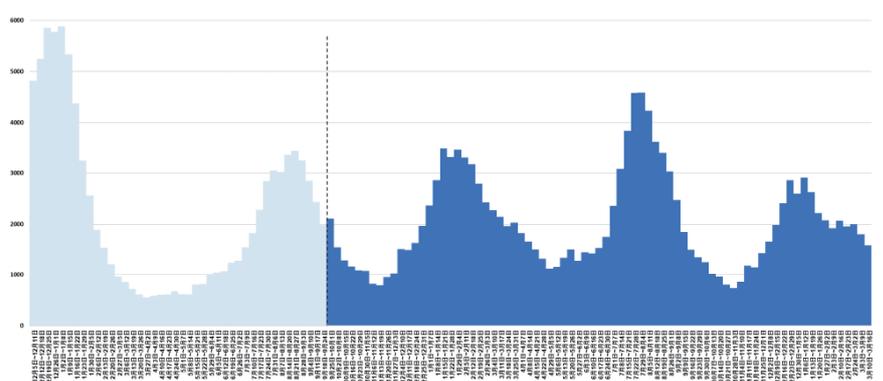
図1. 新型コロナウイルス感染症定点当たり報告数(全国)の推移  
(2022/11/5～2025/3/16)



23,738人でした。図1の患者数のピークは波ごとに低くなっていますが、減少のスピードは鈍っていますし、図2の入院患者数の波は決して低くなっていません。年齢分布をみると60～69歳 9.2%、70～79歳 24.7%、80歳以上 51.7%と60歳以上が85.6%を占め、高齢者が大部分でした。ICU入室者の年齢をみると、60歳以上が83.1%、人工呼吸器使用者では60歳以上が82.9%を占め、高齢者は明らかに重症化しています。また、東京都の第11週（3月10～16日）における集団発生報告数は24件であり、このうち社会福祉施設が19件であり、社会福祉施設における集団発生が最も多い状況は変わりません。これらのデータからは、COVID-19は依然として高齢者にとっては大きな疾病負担であり、高齢者の感染・発病者を減らす努力が必要であることがわかります。感染対策の重要性とワクチンの効果は明らかであり、これらについての啓発活動の継続が必要であると考えています。

ただ、最近ではCOVID-19についての報道が減少しており、人々の関心が薄れています。2024年-25年シーズンのインフルエンザワクチンはそこそこ接種が進みましたが、コロナワクチンはお勧めしても断られることが多かったです。上に示したデータからもCOVID-19は依然として高齢者にとっては大きな疾病負担であると考えられますので、ワクチン接種を忘れないでほしいと思います。

図2. 新型コロナウイルス感染症定点医療機関の入院患者総数の推移  
(2022/11/5～2025/3/16)



感染対策が徹底された時期は、インフルエンザはほとんど流行せず、他の呼吸器疾患も減少していました。感染対策が緩んだ結果、マイコプラズマ肺炎の増加、インフルエンザの著増、肺炎の死亡者数の増加などが見られています。マスクや手洗いの徹底がいかに有効であったかが、よくわかります。

2025年1月～3月16日の間のCOVID-19による入院患者数は、

## シリーズ診断と治療

## VEGF 阻害薬

眼科 上甲 覚

## はじめに

VEGFは、GAFAやGMARCHと同じ略語ですが、会社や大学の名前ではなく、フルスペルはvascular endothelial growth factor、日本語では「血管内皮細胞増殖因子」と言います。眼内では、新生血管を作る働きや血管から血液成分を漏れやすくする作用があります。

下記の眼科領域の疾患で、VEGFの作用を阻害する治療薬が使われています。

## 治療の対象

糖尿病や高血圧で、眼底出血を生じて網膜の黄斑部浮腫を来すとVEGF阻害剤の治療を行うことがあります。

加齢黄斑変性症は、新生血管の増殖を生じて黄斑部の障害を合併すると治療の対象になります。その他、新生血管による黄斑部障害がある強度近視の症例でも使用されます。

## 方法

抗VEGF薬を眼内（硝子体中）に注射します。点眼麻酔を行い、眼瞼や結膜を消毒してから注射を行います。詳しい方法を知りたい方は、文献1をご参照ください。

対象疾患は、病変の再発を起こしやすいので、1年間に何度か治療を繰り返し、何年も継続することがあります。

## 治療の主な合併症

眼圧上昇、結膜下出血、結膜充血、飛蚊症、眼底出血、眼痛、視力低下、白内障。ごくまれに、眼内の炎症や脳梗塞を起こすことがあります。

## おわりに

抗VEGF薬の治療が必要な疾患は、中途失明の主な原因であります。本治療で視力の悪化予防、または改善することにより介護費用の軽減も期待されています。

## ミニテスト 正誤問題。以下の文章を読み（ ）に○か×をつけてください。

高血圧症の患者は、眼底出血を起こし、網膜黄斑部の障害を生じることがある（ ）。

糖尿病の患者は、眼底出血を起こし、黄斑浮腫を合併することがある（ ）。

抗VEGF薬は、加齢黄斑変性症の治療に有用である（ ）。

## 参考文献

上甲 覚：硝子体内注射の練習用モデル眼の試作. あたらしい眼科 36：1335-1337, 2019年

## 結核について（48）

呼吸器内科 山根 章

様々な形の肺外結核を紹介しています。前回から粟粒結核のお話しをしています。

前回の話を要約すると、

- ① 血流を通じて感染部位に菌が到達する様な感染様式を血行性感染と呼ぶ。粟粒結核は血行性感染によって起こる。
- ② 粟粒結核という病気は17世紀に初めて記載された。喘息様の呼吸器症状を示しながら死亡した患者を解剖したところ肺全体に多数の粟粒（あわつぶ）のような病変がみられたとの記録があり、これが粟粒結核という病名のもととなっている。
- ③ この肺内の粟粒の様な病変が結核によって起こっていることが確立されるまでに200年くらいの時間が必要だった。決定的な証拠となったのはコッホによって発見された結核菌の存在である。

ということでした。今回も粟粒結核についてお話しいたします。

肺の中に粟粒（あわつぶ）の様な病変ができることが、粟粒結核という病名の由来であることは前回お話ししました。そして、粟粒結核では結核菌が血流に乗って広がりますので、病変は肺にとどまらず、全身の様々な臓器に広がります。よく侵される臓器として、肝臓・腎臓・骨（骨髄）・副腎・脾臓・性器などがあり、さらには脳・脊髄といった中枢神経に広がることも稀ではありません。

これまで、「粟粒結核」という病気の概念が歴史的にどのように形成されてきたかということに触れてきましたが、粟粒結核とは何であるかについては、はっきりと説明していませんでした。一般的な説明としては、大量の結核菌が血管を通過して体の様々な部位にばら播かれることによって生じる病態を指して粟粒結核と言っています。粟粒結核では大量の結核菌が広がるため、激的な症状が出ることが多く、治療が遅れるとしばしば致死的になります。特に多く見られる症状は高熱です。その他に感染した各種臓器特有の症状も見られ、重症化することが多いです。

粟粒結核では肺の組織に粟粒の様な病変がみられることが多いことは上記の通りです。その様な病変はレントゲン写真に写ることが多く、両側の肺にたくさんの粒々した陰影が見られます。そのような粒は2mmかそれ以下の大きさであることが多いといわれています。しかし、粒があまりにも小さい場合にはレントゲンでは写らないこともあるので、粟粒結核の中には肺のレントゲンで異常所見が認められないものもあります。しばしば経験する粟粒結核の臨床経過として、発熱や倦怠感などの症状で発症したものの、胸部レントゲンで異常所見が認められずに症状の原因が分からないというものがあります。病気が進行すると肺内の病変が増大して、胸部レントゲンで見えるようになり粟粒結核であることがはっきりするような経過をたどるのです。

粟粒結核は重症結核ですので早く診断をつけたいのですが、このように当初は診断が難しい場合があり、診療に苦労することもあります。

今回はここまでです。次回も粟粒結核についてお話しいたします。

## 退職者・異動者のご挨拶

薬剤部長 近藤 直樹

2023年4月の東京病院着任時より、全職員と協力しながら、患者さんと地域のために働き続けることを心掛け、薬剤師一同仕事をして参りました。特に感染症に精通した薬剤師、がんに精通した薬剤師、チーム医療に貢献する薬剤師を目指し、診療、教育、研究にあたってきました。

感染症領域では抗菌薬適正使用支援チームに薬剤師を専従で配置し、がん領域では医師、看護師等とともに質の高いがん治療に寄与し、薬剤師による医師の診察前面談の整備を進めました。また緩和、栄養、褥瘡、呼吸サポート、動脈血栓塞栓症等のチーム医療に継続的に参画しました。教育では薬学生の実務実習に寄与し、研究面では2023年9月に明治薬科大学と連携協定を締結しました。また2年間で研究論文を6報投稿し、厳しい査読を経て国際誌に1報、国内誌に5報掲載されました。

最後になりますが、東京病院はこれまで勤務した中で最も働きやすい病院でした。これからも地域に愛され続けてほしいと思っています。また私はここでの貴重な経験を踏まえ、次の着任先の国立がん研究センター東病院でも頑張りたいと思います。ありがとうございました。

看護部長 岡地 千佳

令和5年4月に東京病院に着任し、2年間お世話になりました。その令和5年のゴールデンウィークにCovid-19感染症が5類となり、秋になるころ病院の敷地内にあった東京都感染症病棟が解体されました。そこから通常の診療体制を再度見直し、離れていた患者さんの受診を再開していただく活動と、看護師を確保する活動が始まりました。私の東京病院での勤務は、その活動に終始した2年間だったように思います。

東京病院は、60年以上の歴史があり、他の病院で手に負えない状況の呼吸器疾患の患者さんを受け入れている由緒ある病院です。このような歴史と由緒ある病院で、国立病院での最後の2年間を過ごせたことに感謝申し上げます。

東京病院に働く皆さまのご健康とますますのご活躍、東京病院の更なるご発展をお祈りいたします。お世話になりました。ありがとうございました。



**感染症科部長 永井 英明**

1984年に当院に就職して以来、40年以上にわたり、呼吸器科の医師としてお世話になりました。古い建物のときから働いておりますので、病院の変遷を見つめてきました。結核患者の減少とともに、結核病床は徐々に減らされてきましたが、結核の歴史をダイレクトに経験できました。また、主に感染症に関わってきましたので、HIV感染者もみていました。HIVの治療を行うと同時に、HIV感染症の治療法が十分でなかった時代にAIDS患者のための緩和ケア病棟を1995年7月にオープンしたときに、病棟医長となりました。その後、HIV感染症の治療が劇的に良くなり、悪性腫瘍患者も積極的に緩和ケア病棟に受け入れるようになり、対応してきました。結核→AIDS→悪性腫瘍終末期と、各時代でなかなか受け入れられなかった疾患の診療を行うことができたのは、大変貴重な経験でした。いつの時代にも疾患によりつらい想いをする人々がおられるので、今後もその人達のために医療を続けていきたいと考えています。

**事務部長 小野 勝**

東京病院は19歳で採用された病院で、昭和から平成にかけて9年間勤務した言わば、故郷といえる病院です。2年前に事務部長として赴任した際にも、昔の友と、また一緒に働けるといふ喜びとともに着任しました。

業務遂行では2年前は新型コロナウイルス感染症が終息する間際ということもあり、感染対策のための検査の徹底、面会制限等の徹底したコロナ対策を実施している状況でした。このような状況の中、ベンチマークを活用した医薬品などの価格交渉、令和5年度下期からはクリニック訪問などを実施するも、令和5年度の患者数はコロナ禍よりも減少し過去最大の経営がマイナスという結果でした。

令和6年度はクリニック訪問の更なる強化や救急患者を原則断らないといった診療強化や面会緩和などにより、入院患者数が令和7年2月には目標であった359人・病床利用率85%を達成するとともに、未取得の施設基準の取得やベンチマークを活用した医療材料の価格交渉、照明のLED化の取り組みなどの結果、令和7年1月の月次決算では減価償却前収支の黒字化も達成することができました。皆様の努力が実績に結びついたことには、感謝しかありません。

令和7年度は減価償却前収支を黒字化するという目標に向けて、夜間看護補助加算の施設基準の取得、保育所の定数見直しなどによる効率化など新たな取り組みに向けた弾込めの最中での異動となりますが、今後の更なる経営改善については、後人の方々が実施してくれると固く信じております。

最後に、病院経営について目標達成の鍵は、病院で働く一人一人の職員次第ですので、7年度以降も新たな取り組みにチャレンジして目標達成できるよう御協力をお願いできればと思います。

4月からは国家公務員として初心に立ち返り、地方から我が国をより良くすることができるよう業務に邁進するとともに、OBとして、東京病院のためにできることを応援していきます。2年間ありがとうございました。

企画課長 氏名 大森 昭夫

このたび、2024年4月よりさいがた医療センターへ赴任することとなりました。2023年1月に東京病院に着任し、約2年3か月の在任となりましたが、皆様の温かいご支援とご指導のもと、充実した日々を過ごすことができました。心より感謝申し上げます。

東京病院への赴任は今回で2回目となり、緩和ケア病棟庭園の造成、院内のLED化、熱源機器の更新プランなど、病院環境の整備に携わる機会をいただきました。皆様と共に取り組んだこれらの業務は、私にとって大変貴重な経験となりました。

新天地での勤務は、初めての単身赴任となりますが、これまで培った経験を活かし、一層精進してまいります。東京病院の皆様のご健勝とご発展を心よりお祈りいたしております。

管理課長 細田 和宏

このほど人事異動にともない国立病院機構相模原病院へ異動することになりました。

在任中は、大変お世話になり、本当にありがとうございました。

未熟な点や至らぬ点多々あったであろうかとは思いますが、皆様からの温かなご協力に支えられ無事に乗り切ることができました。

迷惑をおかけしてしまったことも、あろうかとは思いますが、皆様からいただいたやさしい気遣いや、さりげない配慮は忘れません。心より御礼申し上げます。





独立行政法人 国立病院機構東京病院

# 出前講座のご案内

東京病院では、地域の方々との交流・健康づくりのお手伝いの一助として、当院の職員による「出前講座」をご用意しております。皆様の地域に職員が出向いて、専門的な内容を分かりやすくお話しいたします。

なお、開催にあたっては、主催団体様においても十分な感染対策を講じていただく必要がございますので、ご理解・ご協力ほどお願いいたします。

※今後の感染状況や開催条件によっては、お受けできない場合もございます。予めご了承ください。

番号	講座名	講師
1	たばこの害について	院長 松井弘稔
2	PM2.5はどれほど危険か	院長 松井弘稔
3	いびきを放置するのは危険？～睡眠時無呼吸の話～	院長 松井弘稔
4	増えている非結核性抗酸菌症	感染症科部長 永井英明
5	結核は過去の病気ではありません！	感染症科部長 永井英明
6	大人のワクチンについて	感染症科部長 永井英明
7	こんな時は脳神経内科を受診してください（脳神経内科が診療する疾患について）	外来診療部長 小宮正
8	脳卒中になったら、ならないために…	外来診療部長 小宮正
9	認知症の予防と治療について	外来診療部長 小宮正
10	パーキンソン病の治療の進歩	外来診療部長 小宮正
11	「お茶でむせる」は要注意！～飲みこみの障害とその対策について	リハビリテーション科医長 伊藤郁乃
12	感染症から身を守ろう！～今日からできる正しい手洗い～	感染管理認定看護師 松本優子
13	抗がん剤と副作用	がん薬物療法認定薬剤師 植木大介
14	ジェネリック医薬品（後発医薬品）とは	副薬剤部長 船崎秀樹
15	がん診断時からの緩和ケアについて ～緩和ケアを終末期医療と思っていないか？	緩和ケア内科医長 池田みき
16	もしバナゲーム(もしものときの話し合い) ～命の危険が迫っている時、あなたは何を大切に生きていきたいですか？～	緩和ケア認定看護師 村山朋美
17	遺伝子検査とは・・・（新型コロナウイルス・結核菌）	主任臨床検査技師 山口卓哉

## ○開催日時・場所

原則、平日の9時から17時の間で1時間程度といたします。会場のご用意は、主催団体側にてお願いします。

## ○申し込みができる団体

町内会、自治会、老人会、市民サークルなどの地域団体や、学校・企業などを想定した講座となっております。

## ○申込方法

希望日の概ね2週間前までに、下記のお問い合わせ先（東京病院経営企画室）まで、開催時期・講座名等についてご連絡ください。担当者にて調整させていただきます。

## ○その他

講演料は無料となりますが、講師の交通費等は主催団体側にてご負担をお願いいたします。

## ○お問い合わせ 東京病院 経営企画室（☎042-491-2111）



外来診療担当医師表  
〒204-8585 東京都清瀬市竹丘3-1-1 TEL 042-491-2111(代) FAX 042-494-2168  
〈地域医療連携室〉 TEL 042-491-2934 / FAX 042-491-2125

★は予約患者様のための診療です。〈受付時間〉 初診 : 8時30分~11時00分 / 再診(予約外) : 8時00分~11時00分

診療科名		月		火		水		木		金		備考	
専門外来		午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後		
呼吸器センター	呼吸器内科	初診	当番医		当番医		当番医		当番医		当番医		
		再診	★武田	★川島	島田	★日下	★榎本	★渡辺	★田村	★佐々木	松井	★小佐井	
			佐藤(亮)	★中村(澄)	大島	★島田	★守尾	★守尾	山根	★山根	田村	★佐藤(賢)	
			★渡辺	★渡辺	山田	★榎本	永井	★鈴木	★小佐井	★武田 ※2	★中村(澄)	★中村(澄)	
			松井	田村	★扇谷	★下園	★成本	★永井	加藤	★山田	大島		
			★中野	★中野		★守尾		★赤川	鈴木	加藤	★佐々木		
			鈴木	★扇谷		★大島		★扇谷	★川島	★鈴木	★成本		
				★鈴木		★山田		★益田	★島田	★川島			
				★武田		★佐々木			日下	★榎本			
					★扇谷				★武田 ※1				
				★鈴木									
				★池田									
		間質性肺炎					★赤川						
		非結核性抗酸菌症	当番医		当番医		★佐々木	★佐々木	当番医		当番医		
		いびき・COPD	当番医		当番医		★松井	★松井	当番医		当番医		
	結核・非結核性抗酸菌症・肺真菌症 ヒカドオピニオン									★佐々木			
	咯血				★川島※2						喀血外来は ※1 第2週・第4週の診療 ※2 第1週・第3週・第5週の診療		
	肺がんセカンドオピニオン								★田村				
	感染症								★永井				
	禁煙				★松井								
	肺高血圧		★日下										
	慢性呼吸器疾患 看護外来	★認定看護師											
	呼吸器外科	初診		当番医						当番医			
		再診		四元						深見			
消化器センター	消化器内科	初診	当番医		当番医							※1 第2週・第4週の診療	
		再診	★上司	★上司	★佐藤(宏)		★上司		★上司 ※1		★喜多		
	消化器外科	初診	当番医		当番医		当番医		当番医		当番医		
		再診		中山(洋)	北條		中田		中田		五十嵐		
内科系	糖尿病外来			★内田	★内田								
	循環器内科	初診	当番医		当番医		当番医		当番医		当番医		
		再診	★小川				★石橋		★岡橋		★青木		
	脳神経内科	初診	当番医		当番医		当番医		当番医		当番医		
		再診	椎名		小宮		小宮		石津	★栗崎 ※1	小宮	松本	※1 第2週・第4週の診療
			石津		中村(美)		椎名		★栗崎 ※1		中村(美)		
	ものわずれ						★小宮	★栗崎 ※1	★栗崎 ※1				
	高次脳機能障害							★栗崎 ※1	★栗崎 ※1				
	アレルギー科(喘息)	初診							当番医				
		再診			★田下	★田下	小林	★小林	鈴木	★鈴木	★大田		
リウマチ科	初診					當間(代診)	當間(代診)	★古川	★古川				
	再診					當間(代診)	當間(代診)	★古川	★古川				
緩和ケア内科				池田				三上	三上	永井(英)	池田		
外科系	耳鼻咽喉科	初診		★田中	★田中				★荒木				
		再診			★田中	★田中			★荒木				
	眼科	初診	当番医		当番医※1		当番医		当番医		当番医		※1 第2週・第4週の診療
		再診	上甲		上甲※1		上甲		上甲		中山(馨)		
	整形外科	初診			堀		小島	小島			堀		
		再診	★堀		堀		★堀				小俣		
	泌尿器科	初診	瀬口		山中		瀬口				山中		
		再診	瀬口	★山中※2	★瀬口		瀬口				山中		※第1週・第3週・第5週のみの診療
その他	リハビリテーション科	初診	当番医		当番医		当番医		当番医		当番医	※第1週・第3週のみの診療	
		再診	★当番医	★当番医						★佐藤(広)			
	歯科	初診	高島		高島		高島		高島		高島		
		再診	高島		高島	★高島	高島	★高島	高島	★高島	高島	★高島	
	放射線科	初診		★佐藤(亮)		★張		★張		★張		三上	
再診		★張	★張	★三上/★張	★三上/★張	★張	★張	★張	★張	★佐藤(亮)/★張	★佐藤(亮)/★張		